

# 「世界の鉄道の、安全を支える力となる」 最新技術とアイデアが 鉄道運転の安全・確実な運行を守る

音楽館

音楽館(品川区西五反田、向谷実社長、03・5719・4700、<http://www.ongakukan.co.jp>)は、業務用・展示用・訓練用の鉄道運転シミュレータの制作全般をはじめ、低コストで軽量化ホームドアの開発など、最新技術とアイデアで、鉄道業界の安心・安全を支える事業を展開している。

鉄道事業を支える人的資源の供給は、少子高齢化に伴う労働人口の低下によって減少しつつある。また、技術革新によって操作の機械化が進む一方、経験を重ね熟練された技術を体得することはより困難になる。こうした社会の流れから、鉄道事業の生命線である人材を質・量ともに確保し、運転業務における安全性・確実性をより強化するための教育システムのひとつが鉄道運転シミュレータであるという考えのもと製作された同社製品は、国内大手鉄道事業者のご要望にお応えし、多くの実績と高い評価を得ている。

昨年11月より、JR九州筑肥線の九大学研都市駅にて、同社が開発した新型ホームドア

の実証実験が開始された。バーを使うことで、軽量化と製造・設置時のコストダウンを図ったホームドアは、人や荷物が列車と接触してしまう万一の事故を防ぐ安全性の面はもちろん、その後のダイヤ乱れを未然に防ぐという運行の確実

性も高める附加值の高い製品として実用化を進めている。

同社が製作・開発したこのシミュレータとホームドアは、先日幕張メッセで開催された国内最大の鉄道見本市「第5回鉄道技術展2017」に出展され、各方面から大きな注目を浴びた。

広い視野を持つて世の中を変えようとするアイデア・発想力。細部にまでこだわり、高いクオリティを実現する技術力。人の生み出す力によって、同社はこれからも世界中の鉄道の安全を支えていく。



「第5回鉄道技術展 2017」に出展されたシミュレータとホームドア